



『SMilet』利用者の声を聞いてみたよ！



「SMilet」はとても使いやすく匂いもないので自宅のトイレみたいで快適です。花火大会やお花見でも使えたら良いと思います。他の仮設トイレは流す時に踏むレバーが固くて大変でしたが「SMilet」は指一本で流せるので快適です。

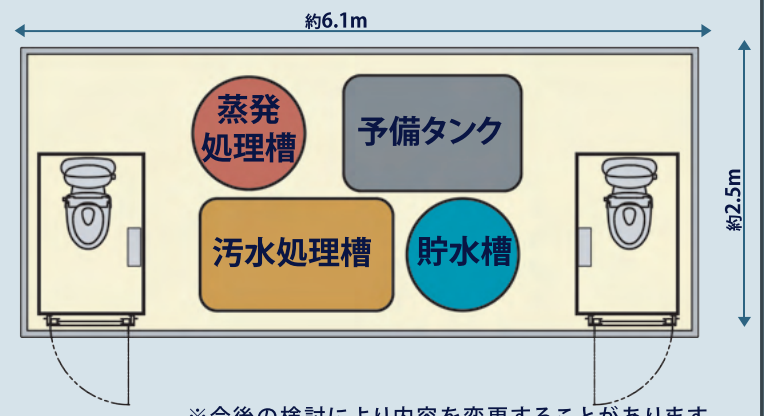
「SMilet」は匂いも無く安心して使え、まるで自宅やホテルのトイレの様に快適です。災害時には被災者の方々がトイレに困っていたと聞いているので「SMilet」は被災地でも活躍すると思います。

本体ラインナップ

連棟型(ユニック 揚重可)



内包型(クレーン・ジャッキ揚重)



※今後の検討により内容を変更することがあります。

	連棟型	内包型
構成	処理室、トイレ2室 電気配線、給排水配管接続(工事不要)	処理室、トイレ2室
外形寸法	幅約6.2m×奥行き約2.5m×高さ約2.6m	幅約6.1m×奥行き約2.5m×高さ約2.6m
乾燥重量	約3.2t・運用時質量約5.7t(循環水含む)	約3.8t・運用時質量約6.3t(循環水含む)
輸送・揚重	10tユニック車または4tトラック×2台で輸送 個別にユニックで積み下ろし可能	4tトラック輸送＋クレーン揚重 中型トラック輸送＋自立搭載型(オプション)
処理能力	500回/日(100回/日程度以内は余剰水・余剰汚泥の回収不要)	
電源仕様	AC100V(50Hz/60Hz)	
年間消費電力量	約3,600kWh(50Hz)/約3,900kWh(60Hz)	

オプション

 既存トイレ等と接続可能	 処理ユニット単体型	 自立搭載型(ジャッキ付)
 太陽光発電＋蓄電池(個別設計)	 追加タンク(個別設計)	
 手洗器※・洗浄便座※・小便器	 バリアフリートイレ	
 不具合メール通知	 遠隔監視(随時確認)	

※別途給水が必要となります

車載型(移動性を優先)



トイレトレーラー・
トイレカーどっち
も対応もできるんだって！

SMiletはいろいろな用途で
活躍できるね！



いつでもどこでも
快適にも。
上下水インフラ不要で

誰もが“SMile”になれる
水循環式コンテナ toilet

災害時

??

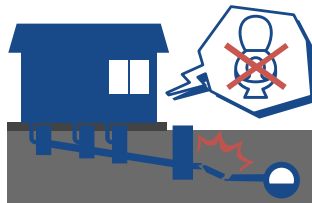
に
困
る
こ
と



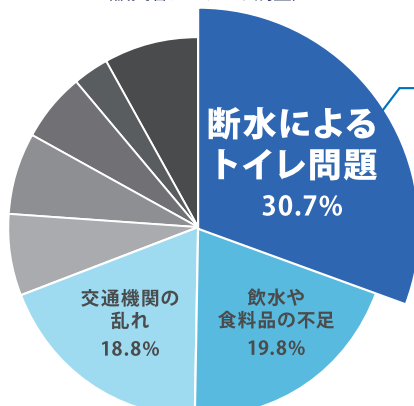
震災の多い日本では近年、地震や洪水などの自然災害が頻繁に発生しています。これらの災害時には上下水インフラが被災してしまい普段使っているトイレが使用出来なくなることが多く避難生活における大きな問題となっています。災害時にはマンホールトイレなど、様々な仮設トイレが使われています。



災害時によく使われているトイレには色々な困りごとがあるみたいだね



【災害時に最も困ること】
(被災者アンケート調査)



【トイレ問題内訳】

- ・水が流せない
- ・臭いが耐えられない
- ・生理現象のためトイレは我慢することができない

防災拠点(避難場所)や道の駅への設置が広がっているよ!



トイレツタちゃん

平常時や災害時を問わずより快適なトイレ環境を提供することを可能にする水循環式コンテナトイレ

※平成30年7月豪雨に関するアンケート調査
出展: <https://www.prdesse.com/posts/view/16955> まいにち調べ

トイレ問題を『SMilet』が解決!

水洗トイレなのに上下水道の接続不要!

給水も汲取りも無く、災害時でも安心して使い続けることができる!

気になるニオイもなく快適!

洋式の水洗トイレのため子供からお年寄りまで笑顔で使える!

フェーズフリーでどこでもすぐに使える!

設置も移動も簡単で被災地でもすぐ使うことができる!

『SMilet』の仕組み

- ① 微生物の力で汚水を処理水と汚泥に分離
- ② 電気分解処理で処理水を殺菌・脱色
- ③ 浄化水をトイレ洗浄水に再利用
- ④ 余剰水と余剰汚泥を蒸発処理・減容化



独自の蒸発処理技術によって余剰水や余剰汚泥を回収することなく使えるんだって!



『SMilet』だからできる3つのメリット

安全・安心の清潔感

- ・排泄物の臭いや害虫が発生しない水洗トイレ
- ・殺菌・脱色処理を施しているため大腸菌ゼロで清潔な洗浄水を実現

メンテナンスの容易さ

- ・生物処理+蒸発処理により余剰水・余剰汚泥の回収が不要
- ・安心の不具合メール通知や遠隔監視で万一の故障にも迅速に対応



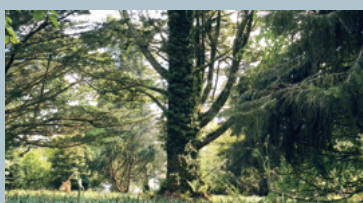
ご希望に応じたカスタマイズ

- ・総合建設業ならではの設計力による豊富なバリエーション
- ・ご希望に応じたカスタマイズが可能

トイレ問題は平常時でも!

様々な場所で清潔で快適な水洗トイレの設置が求められています。

上下水インフラの無い場所



公園・キャンプ場



河川敷

建設現場のトイレ

高所や山間部・海上などにおいても男女ともに働きやすい職場環境の改善が推進される中、快適な水洗トイレの設置が求められています。



橋梁上部工(2023.10~2025.4)
(関東地整)川崎臨港道路その3
使用回数:累計7,000回以上



トンネル坑内(2025.5~)
(中国地整)俵山・豊田道路第2トンネル(仮称)

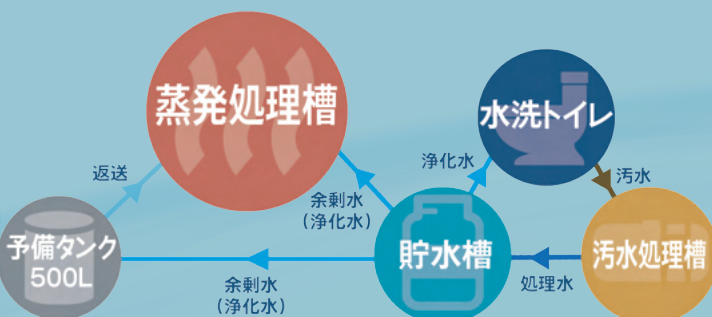
設置以降1度も余剰水や汚泥を回収することがなかったんだって!



スフィア基準に対応したフェーズフリーな使い方

通常利用時【余剰水・余剰汚泥回収不要】

100回/日程度まで



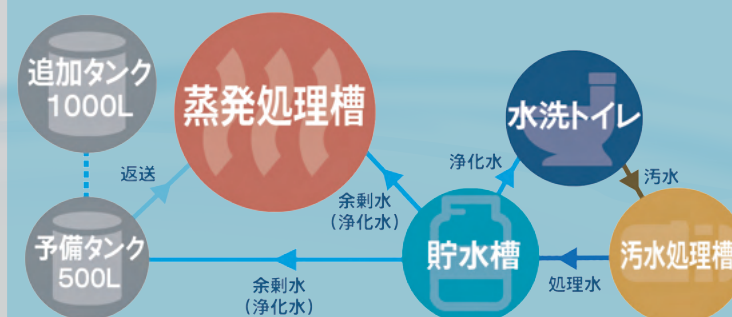
- ・1日あたり100回程度以内のトイレ利用の場合、余剰水・余剰汚泥の蒸発処理によりバキュームカーによる回収なく循環運転を継続可能
- ・蒸発能力を一時的に超えるような集中利用があっても、予備タンク500Lに貯留、蒸発処理槽への返送により減容化→回収不要

通常利用時は余剰水・余剰汚泥が回収不要で、集中利用時も回収頻度が少ないんだって!



災害時・集中利用時【回収頻度少】

100回/日程度以上



スフィア基準のトイレ一台あたり50人×トイレ2台×1日5回利用=500回/日の場合、蒸発能力を超える浄化水を予備タンク500Lに貯めることで2,000回程度、追加タンク1,000Lと合わせて6,000回程度の集中利用が可能。(蒸発処理機能時)

使い方に合わせて追加タンクの容量を増やすことができますよ!

